



きっとわかって役に立つ

禅・仏教講座

第8期

聖徳太子 『三経義疏』 を読む

(全6回)

——「仏教の教えをベースに、
日本国をゼロから造り直す」

…聖徳太子は仏教にどのような確信を得て
国家の理想を描いたのか…

今年度は、古代から現代への「問題提起」
として日本初の仏典解説書を読んでみよう。



<スケジュール> 午後2時から3時半

第1回 6/25(日) 革新が始まる「憲法17条」

第2回 8/20(日) 推古女帝に捧げられた講義
『勝鬘経義疏』

第3回 10/22(日) すべての社会人へ
『維摩経義疏』①

第4回 12/3(日) 『維摩経義疏』②

第5回 2/25(日) この世に仏国土を実現する
ために『法華義疏』①

第6回 4/21(日) 最終回 『法華義疏』②

*『三経義疏』とは

三つの経とは、女性が主人公の『勝鬘経』、社会人の男性が主人公の『維摩経』、経王と言われる『法華経』のことで、いずれも大乘仏教の要の經典です。太子はこの3つを選んで解説書を著したとされています。古い時代ですので真偽について諸説ありますが、今回はその追究よりも、すぐれた解説に刺激を受けつつ、あらためて私たちの「今」を考えていく機会にしたいと思います。

<場所> 人間禅擇木道場 JR日暮里駅徒歩3分
東京都台東区谷中7-10-10

<受講料> 3000円/回、年間一括 15000円

会員割引有

ZOOM可、録画有



<お申し込み>

zen@gyokukei.jp

慧日庵 笠倉玉溪

